

# スーパーグローバル大学創成支援事業

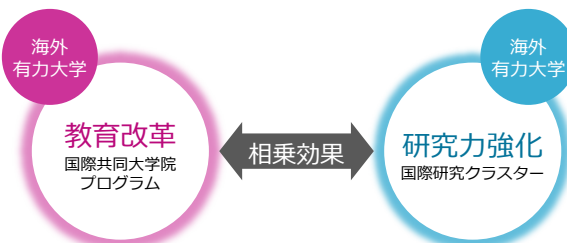
## 「東北大学グローバルイニシアティブ構想」～10年間の取組とその成果～

### 「国際共同大学院プログラム」群の創設と先端的教育研究クラスターの構築

- 総合研究大学の強みを活かし、海外有力大学との協働による「国際共同大学院プログラム（6ヶ月以上の海外研鑽と共同授業・共同論文指導等を組み合わせ）」を創設し、2015年度のスピントロニクス分野を皮切りに研究科を横断する学位プログラムとして教育を開始した。
- 北米・欧州・アジアの約30の海外有力大学とJointly Supervised Degree（JSD）等に関する覚書を締結し、本事業期間中に当初予定の7分野を上回る10分野で大学院での国際共同教育と世界を牽引する高度な人材を着実に輩出（修了生数196人）したことにより、国際プレゼンスの高い教育研究拠点が形成された。
- プログラムを束ねる組織として2015年度「東北大学学位プログラム推進機構」を設置し、2021年度に「東北大学高等大学院機構」として発展・改組したことで質の保証がさらに担保され、大学院教育改革が進展した。

（修了後の主な進路）

国内アカデミアのほかバイロイト大学・ハワイ大学・スイス連邦工科大学・パデュー大学、オーストラリア国立大学などの海外大学アカデミア、JAXA・産業技術総合研究所などの研究機関、国内外の自動車・電気機器・製薬・半導体の企業研究者など



国際共同大学院プログラム

### 優秀な留学生が集う魅力ある国際コースの充実 ～外国人留学生の受入れ促進～

- 優秀な外国人留学生を獲得するため、英語で学位取得可能な国際学位コースを本事業により大幅に拡充し（24コース → 60コース）、特に大学院コースは2023年度までにすべての研究科が創設し参画した。
- 海外協定校ネットワークを活用したセメスター型交換留学プログラムや3か月未満のショートプログラムも拡充するとともに、コロナ禍では国内大学に先駆けてオンラインプログラムも積極的に取り入れた。
- 国際学位コース等の充実により、本事業期間中において外国人留学生数の大幅な増加（約1.7倍）や教員の国際化による英語授業科目の大幅な増加（約2.1倍）をもたらし、教育の国際化と学生の多様性・流動性が飛躍的に向上した。



英語で学位取得可能な国際学士コース



留学生ヘルプデスク

# スーパーグローバル大学創成支援事業

## 「東北大学グローバルイニシアティブ構想」～10年間の取組とその成果～

### 東北大学グローバルリーダー育成プログラム（TGLプログラム）

- さまざまな分野でグローバルに活躍する人材を育成するための学部学生を対象としたcertificate プログラムであるTGLプログラムを開始。所定の条件を満たした特に優秀な学生を「グローバルリーダー」として認定。プログラム修了者に本学公認の「オープンバッジ」を発行し国際通用性と学修成果の可視化を図った。
- 2023年度末まで累計243名のグローバルリーダーを認定したが、卒業後の進路はグローバル企業や国際機関等に進むなど、プログラムが目指す人材養成目標の実現が進んだ。



TGLプログラム



2023年11月オープンバッジ大賞  
(教育機関部門優秀賞) を受賞

### 多様なプログラムの提供による海外留学の促進

- 事業期間中において、①学部生を中心とした短期海外研修となるスタディアブロードプログラムや中長期の交換留学プログラム（単位留学2013年度：220人 → 2019年度824人）②国際共同大学院プログラムによる海外有力大学への学位論文に資する研究派遣（2016年度：4人 → 2023年度149人）③留学経験学生が組織したグローバルキャンパスサポーターによる、留学機運イベント・ピアサポート体制の構築と情報発信 ④コロナ禍にはオンライン派遣プログラムを国内大学でいち早く実現等の取組により、海外留学人数は大幅に増加し、学生の流動性が飛躍的に向上した。
- 東北大学基金を財源とした「グローバル萩海外留学奨励賞」などの独自奨学金も措置し、経済的支援においても全学をあげて海外留学を奨励した。



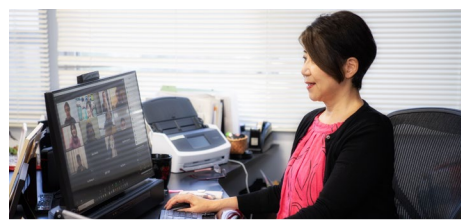
短期海外派遣プログラム



グローバル萩海外留学奨励賞

### 国内最大規模の国際共修授業

- 国内学生と留学生がともに参加する国際共修授業は、2013年度11クラスから2023年度は66クラスと6倍に増加し国立大学最大規模に成長を遂げた。
- コロナ禍においても、国内に先駆け2020年度1学期から海外協定校とのオンライン国際共修授業を開始するなど先進的に取り組んだ。
- 2021年より本学を代表に国立5大学と「大学教育の内なる国際化の加速と世界展開（ICLプロジェクト）」による単位互換交流を開始し、大学の国際化促進フォーラムにおけるプロジェクトとしても選定され、グッドプラクティスの横展開が進んだ。
- 上記の成果として、本学がビジョンで掲げる国際共修キャンパスの実現に大きく寄与することとなった。



オンライン国際共修の様子





# スーパーグローバル大学創成支援事業

## 「東北大学グローバルイニシアティブ構想」～10年間の取組とその成果～

### 国際混住型学生寄宿舎の新設と国際的なキャンパス風土の醸成

- 2018年9月に国際混住型学生寄宿舎となるユニバーシティ・ハウス青葉山（定員：752人）が新たに完成し、10月より入居を開始した。これにより、本学における国際混住型学生寄宿舎の総定員は約1,700人まで拡大し、国内最大規模となった。
- ユニバーシティ・ハウスの整備により、授業だけではなく日常生活を通じた外国人学生と国内学生の共修環境の構築が可能となった。
- 本学がビジョンで掲げるオープンでボーダレスな国際共修キャンパスの深化がなされた。



ユニバーシティハウス青葉山

### 国際サポートセンター創設、外国人構成員への一貫した支援体制確立

- 全ての外国人構成員の受入れ支援の全学展開を担う組織として、2022年度に「国際サポートセンター」を新設した。本センターの活動により、受入教員の負担軽減を図り教員が研究教育活動に専念できる環境が更に整備されることとなった。
- 国際サポートセンターの取組は学内にとどまらず、地元自治体との連携にも発展している。2024年1月に仙台市と国際卓越研究大学認定候補選定を契機とした更なる連携強化に合意するとともに、同年7月には仙台市との連携のもと「国際化共同推進センター」を学内設置した。



2024年1月 仙台市と更なる連携強化

### 国際競争力強化に向けた「戦略的パートナーシップ」のネットワーク構築

- 戦略的なパートナー校である英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）や、米国ワシントン大学をはじめとする海外有力大学との連携強化の覚書締結や戦略的国際共同研究ファンドの実施などを通じて、戦略的国際パートナーシップを構築した。



ワシントン大学との署名式



UCLとの署名式

### 海外ステークホルダーとの連携強化

- 海外ステークホルダーとの連携強化を目指し、国外において顕著な業績を有する同窓生・同窓会等を顕彰する「東北大学国際功労賞・海外同窓会アワード」を創設し、毎年受賞者を本学へ招き授賞式を開催している。海外ステークホルダーと繋がるこの取組は、東北大学ブランドのさらなる向上と東北大学コミュニティの一体感の強化に大きく寄与した。



東北大学国際功労賞・海外同窓会  
アワードの表彰式

# スーパーグローバル大学創成支援事業

## 「東北大学グローバルイニシアティブ構想」～10年間の取組とその成果～

### ガバナンス体制（総長のリーダーシップによる全学実施体制の構築）

- 総長のリーダーシップ強化の一環として、理事の責任のもとでミッション・機能ごとに既存組織をグループ化する全学機構改革を行い、機能別に学内リソースを結集・最適化し運営する6つの機構による「機能結集型ガバナンス」体制を構築した。担当理事を機構長とした迅速な意思決定が図られている。
- こうした体制は、コロナ禍においても活かされており2020年3月、総長・担当理事等を構成員とした「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を立ち上げるとともに、学内専門家を加えた「新型コロナウイルス感染症対策班」を設置し計194回開催する等、感染拡大防止に向けた体制をいち早く構築することが可能となった。



### コロナ禍における国際教育（東北大学 Be Globalプロジェクト）

- 2020年4月にコロナ禍で浮き彫りになった課題に挑戦し、ニューノーマル時代におけるグローバル人材を目指す学生への学習・生活を支援するため、4つのユニット（①オンライン海外留学 ②オンライン国際共修 ③オンライン留学生教育 ④オンライン留学生支援）から構成される新たな国際教育支援プロジェクト「Be Global」を立ち上げ、ニューノーマル時代の国際教育を先導した。
- 本学が国内でいち早く推進した「Be Global プロジェクト」の各種取組は、オンラインにより自由度の高い学びと知の共創を可能にする大学として飛躍することに繋がった。

#### オンライン海外留学

#### オンラインで留学生と共に学ぶ

#### オンライン留学生教育

#### オンライン留学生支援



### 国内外での評価の向上、世界三十傑大学へ

本事業の推進により、国内外より得られた評価は以下のとおりである。

THE日本大学ランキング  
4年連続1位

THE世界大学ランキング  
201-250位 → 120位

SGU 第2回中間評価  
S評価

研究大学強化促進事業  
事後評価  
S評価

朝日新聞大学ランキング  
コロナ禍で優れた対応を  
行っていると思う大学  
1位

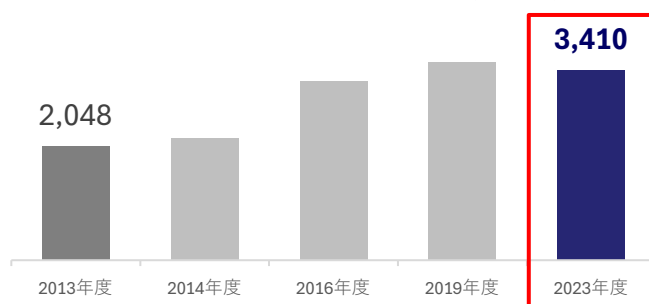
朝日新聞大学ランキング  
入学後、生徒を  
伸ばしてくれる大学  
1位

本事業で推進した取組は、「指定国立大学法人（2017年度認定）」や「東北大学ビジョン2030」の各主要施策としても内在化されるとともに、2024年に唯一認定となった「国際卓越研究大学」の構想において掲げた教育改革や包括的国際化の目標設定・体制強化計画にも繋がっており、世界から尊敬される「世界三十傑大学」を目指した本事業が大きく寄与した。

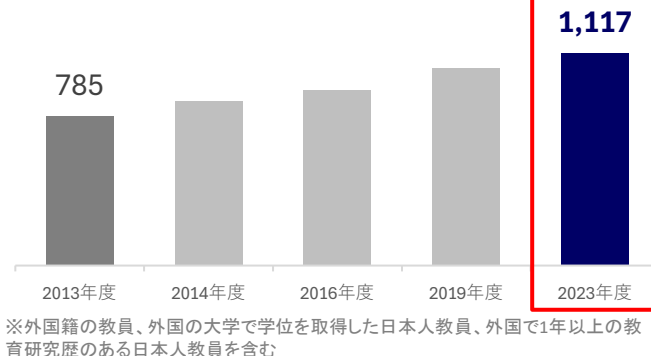
# スーパーグローバル大学創成支援事業 「東北大学グローバルイニシアティブ構想」～10年間の取組とその成果～

## 本事業における成果指標の達成状況

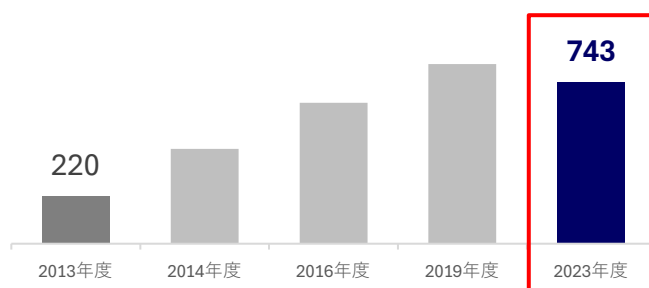
### 受入れ外国人留学生（通年）



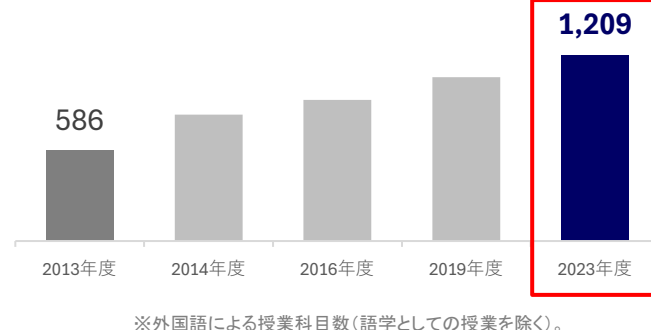
### 外国人教員等数



### 単位取得海外留学



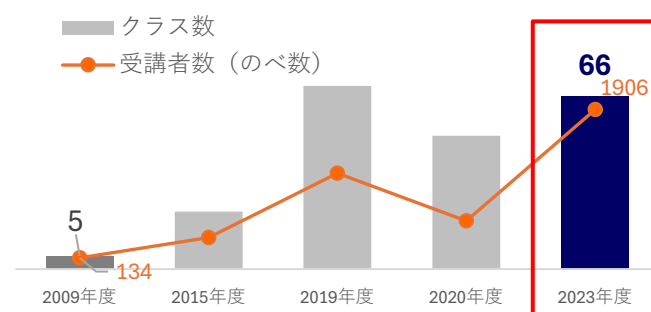
### 外国語による授業科目数



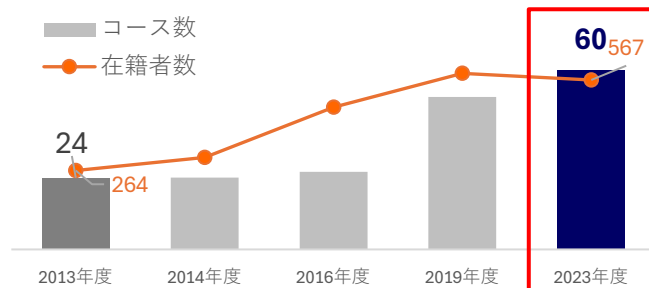
### TGLプログラム実績 GL認定者数推移（累計）



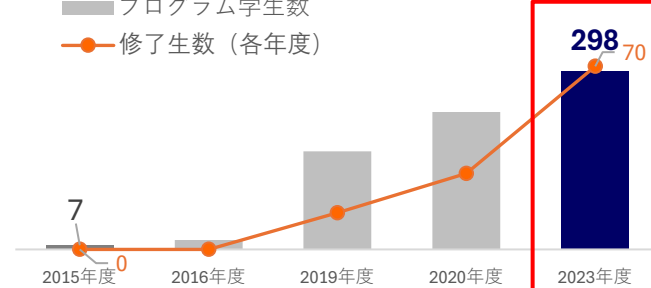
### 国際共修科目数・受講者数



### 外国語のみで卒業できるコースの数等



### 国際共同大学院プログラム



※外国語のみで卒業できるコースの設置数、外国語のみで卒業できるコースの在籍者数